

### 令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護の方法 I	科目区分	専門分野 II	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	2 年前期
<b>担当教員：</b> 平野 信子 <span style="float:right"><b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/></span> 療養病棟を有する病院で看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。					
<b>《科目目標》</b> 学習目的：高齢者に起こりやすい問題を知り、予防という視点から看護の役割を考える 学習目標：①地域高齢者を支えている医療・福祉職とその役割を理解する ②介護が必要な高齢者を支える施設および通所施設を理解する ③介護保険制度改正による予防の取り組みを理解する ④高齢者の健康を支えるための栄養面での取り組みを理解する ⑤転倒しないための取り組みを理解する ⑥健康体操（介護予防運動）および遊بریテーションの意義を理解し、計画・実施・評価できる					
<b>《成績評価の方法》</b> 筆記試験					
<b>《使用教材（教科書）及び参考図書》</b> ナーシング・グラフィカ ①高齢者看護の実践 ②高齢者の健康と障害 メディカ出版					
<b>《授業外における学習方法》</b> 課題学習					
<b>《履修に当たっての留意点》</b>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	高齢者を取り巻く介護・介護予防の現状を知る (高齢者を支えている職種、介護保険のサービス構成と取り組み)			講義
2	2	予防という視点からの看護①:高齢者の栄養の現状と改善への看護			講義
3	2	予防という視点からの看護②:転倒予防・リスクアセスメント			講義
4	2	高齢者のリハビリテーション、介護予防を意識した健康体操 遊بریテーションを計画する①			講義
5	2	遊بریテーションを計画する②			講義
6	2	遊بریテーション実施			演習
7	1				
8	2	遊بریテーションの運営について考える			講義

### 令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護の方法Ⅱ	科目区分	専門分野Ⅱ	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位(時間)	1(30)	開講時期	2年前期
<b>担当教員：</b> 井上 亜希 <b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/>					
看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。					
≪科目目標≫ 学習目的：慢性疾患や健康障害を持つ高齢者が対象である。その対象が、疾患や障害をもちながらもその人らしく生活を営むことができるように対象の持てる力に着眼し、安心していきいきと暮らせるよう、安全面にも配慮した看護の展開方法を学ぶ。 学習目標：高齢者によくみられる症状・障害について生活機能の視点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験・課題レポート・ポストテスト					
≪使用教材(教科書)及び参考図書≫ ナーシング・グラフィカ ①高齢者看護の実践 ②高齢者の健康と障害 メディカ出版					
≪授業外における学習方法≫ 課題学習を行う。					
≪履修に当たっての留意点≫ 課題レポートは、教科書以外の文献も活用する事。提出期日・時間厳守。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	老年看護の展開における考え方・エンパワーメント			講義
2	2	生活行動(活動・休息)に焦点をあてたアセスメントと看護			講義
3	2	生活行動(身じたく)に焦点をあてたアセスメントと看護			講義
4	2	生活行動(コミュニケーション)に焦点をあてたアセスメントと看護			講義
5	2	生活行動(食事・排泄)に焦点をあてたアセスメントと看護			講義
6	2	排泄に焦点をあてた看護技術：排尿障害、排便障害(摘便)1			講義
7	2	排泄に焦点をあてた看護技術：排尿障害、排便障害(摘便)2			演習
8	2	生活行動に焦点をあてた看護(事例検討)			講義
9	2	生活行動に焦点をあてた看護(事例検討)			講義
10	2	生活行動に焦点をあてた看護(発表)			演習
11	2	症状に焦点をあてたアセスメントと看護：脱水・浮腫・痛み			講義
12	2	症状に焦点をあてたアセスメントと看護：認知症1			講義
13	2	症状に焦点をあてたアセスメントと看護：認知症2			講義
14	2	症状に焦点をあてたアセスメントと看護(まとめ)			演習
15	2	：認知症患者の環境調整			

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	老年看護の方法Ⅲ	科目区分	専門分野Ⅱ	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2年後期
<b>担当教員：</b> 井上 亜希 <b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。					
<b>《科目目標》</b> 学習目的：入院生活を送る高齢者に対し看護を展開できるように、主要な疾患の理解と、治療及び経過に応じたケアと統合医療の方法を学ぶ。もてる力に着目し、その人らしさを支える看護を追求していく意識を養う。 学習目標：高齢者によく見られる健康障害と看護の考え方を理解し、高齢者に使う頻度の多い看護技術を身につける。					
<b>《成績評価の方法》</b> 筆記試験・課題レポート・ポストテスト					
<b>《使用教材（教科書）及び参考図書》</b> 生活機能からみた老年看護過程 医学書院 高齢者と成人の周手術期看護2 第2版 医歯薬出版 ナーシング・グラフィカ ①高齢者看護の実践 ②高齢者の健康と障害：メディカ出版					
<b>《授業外における学習方法》</b> 課題学習を行う。					
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 課題レポートは、教科書以外の文献も活用する事。提出期日・時間厳守。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	薬物療法とリスクマネジメント：肺炎、心不全			講義
2	2	急性期・手術療法を受ける高齢者への看護			講義
3	2	慢性経過をたどる疾患をもつ高齢者への看護：パーキンソン病			演習
4	2	治療を必要とする高齢者の看護1 (大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折)			講義
5	2	治療を必要とする高齢者の看護2 褥瘡予防(体圧測定・背抜き、30℃側臥位)、弾性ストッキングの着脱			演習
6	2	終末期の看護を考える：意思決定支援			講義
7	2	経管栄養法:挿入・栄養注入時の確認と観察			講義・演習
8	2	経管栄養法			演習
9	2				
10	2	摂食嚥下障害看護 *外部講師			講義・演習
11	2	老年看護過程：大腿骨頸部骨折の患者 事例展開			講義
12	2	老年看護過程：情報の分析			講義
13	2	老年看護過程：情報の分析、生活機能関連図			講義
14	2	老年看護過程：生活機能関連図、看護の焦点（発表）			講義
15	2	統合医療の側面から実践しやすい技術：指圧・マッサージ			講義・演習